

あけましておめでとうございます
今年もよろしくお願いたします

市長が市道曲敷戸団地線の一部改修を約束

市長も現地調査

十一月三〇日、植田地区自治委員連絡協議会は、地元選出市議会議員といっしょに、市道曲敷戸団地線の改修について、市長にといっしょに現地調査をしました。広次市議や敷戸校区自治委員長も、「車が離合できない



広次 ひるっぐ 忠彦 通信

No. 162

2006年1月5日

日本共産党大分市議団

い」「歩道もなく、車がくるとこわい」など、地元のみなさんの声を紹介しながら、改修の必要性を訴えました。



現地調査後、植田行政センターで、市長に直接要望しました。市長から、市道曲敷戸団地線について「国の補助事業とはならないので、市の単独事業となる」「予算の関係から、離合場所を地元と協議して設置したい」との回答がありました。同日、市道木上小野鶴線についても、市長と現地調査と改修の要望をおこないました。

広次市議の談話

市道曲敷戸団地線は、敷戸校区のみなさんにとっては、第2の幹線道路であり、改修が望まれています。

車の離合も大事ですが、歩行者の安全を守るうえから、歩道のある道路に改修すべきと思います。年次計画でも改修をするように求めていきます。

宗方小そばの電波塔は移設を

広次市議は、12月9日市議会一般質問で、宗方小学校そばに建てられた電波塔問題で、「電磁波の危険性があきらかになつてきており、国にきびしい規制をもとめること」「電波塔の建設も、マンションなどと同様に、建設指導要綱に定めて対応をすること」「宗方小学校そばの電波塔は地理的にも危険であり、移設すること」をもとめました。

市当局は、電波塔の建設では「建設指導要綱に含め、対応したい」と回答しました。しかし「電磁波の危険性は認められないので国に要望はしない」「宗方小そばの電波塔は、基準にあった建設」などと回答しました。

広次市議は、「住民との話し合いがすすめられている段階で、電波を発信するような企業のやり方には問題がある」ときびしく指摘しました。

広次市議 12月の活動メモ

- 1日 12月議会開会
本会議(15日まで)
- 4日 消防団第4方面隊内点検
(出初式にむけて総合訓練)
- 8日 宗方小電磁波問題集会
あいさつと議会報告
- 10日 大分大学地域交流集会
- 11日 敷戸校区老人クラブ連
合会・忘年会あさつ
- 15日 市議会本会議・反対討論にたつ
- 18日 大分市河川ゴミイヤ大作戦に参加
- 20日 日出生台各界連(米海兵隊演習問題で対策会議)
- 21日 大分市国民健康保険連
営協議会
- 22日 戸次雇用促進住宅問題
で、雇用振興協会九州支所を
訪問・調査
- 26日 米海兵隊演習問題で、
日出生台・小野原会議

変わります 麻疹・風疹の予防接種

今年4月から受け方が変わります。第1期は1歳から2歳になるまで、第2期は小学校入学前の1年間です。期間をすぎると、公費負担で予防接種できなくなることもあります。接種のしわすれなど